

目次

■巻頭言……………田澤元泰……………1

■第四十一回中央教化研究会議

国家と宗教―仏教政治思想復興のために……………保坂俊司……………5

『立正安国』は如何に伝えられて来たか……………西山茂……………38

全体会議（分科会報告）…………………………65

■研究ノート

『大智度論』にみる医療観―龍樹の伝えるインドの仏教医療について……………影山教俊……………77

近世庄屋記録『万波家文書』にみられる近世村落の寺院……………坂輪宣政……………113

明治維新以降の神道についての研究……………山田孝行……………140

『守護国家論』考―法然浄土教批判を中心として……………岩田親静……………183

宗門と国家Ⅲ―立正安国の今後……………野村佳正……………201

『瑞相御書』における宗祖の依正不二思想……………小瀬修達……………207

法華経はいかにして行じられてきたか―成仏論検討の為の覚え書き……………大乘文晴……………230

■研究・調査プロジェクト

現代と教学プロジェクト

「四海帰妙のための本尊論」研究について…………………………現代と教学プロジェクト……………250

教団・教化プロジェクト

明治時代の歴史年表から読みとる日本の仏教文化の変化について

―日蓮宗に見る教団から宗団への過程について―……………影山 教俊……………259

現代社会プロジェクト

地球温暖化問題から何を学ぶか―洞爺湖サミットを経て―……………梅森 寛誠……………306

■第九回日蓮宗化学研究発表大会

大陸における日蓮宗の活動―満州事変以降の二つの問題を中心に―……………坂輪 宣政……………320

『伝わるからだ』の探求―信行会としてのこころみ―……………釋 一 祐……………332

歌声で立正安国 世界平和の祈り―響け身延から世界へ―……………大森 ゆきゑ……………344

寿福院ちよと自昌院満姫の人脈と功績……………石川 修道……………353

『六巻抄』の構造と問題点(六)―「依義判文抄」を通して(その二)―……………早坂 鳳城……………377

日蓮正宗建立塚原跡碑について……………小瀬 修達……………385

宗門運動と檀信徒の関り……………池上 宗俊……………403

日蓮宗の本尊に関する一考察……………塩 入 幹 丈……………409

『日蓮聖人伝』千文字漢文歌……………三 谷 祥 祁……………415

教学の現代化について……………高 佐 宣 長……………425

立正佼成会の全会員本尊勧請方針発表について……………伊 藤 立 教……………437

教化上の二処三会……………原 顕 彰……………443

日本が核武装? 立正安国はスローガンではありえない……………梅 森 寛 誠……………450

チベット問題と仏教徒の使命	園田明宏	460
チベットの事実をみつめて―仏教を共に大切にする者として一歩を進めよう―	星光諭	465
海外における教化について	平井智親	495
■平成十九年度教化学研究集会		
社寺建築は大地震に耐えられるか？	宮澤健二	511
寺院と防災―もし地震が起こったら―	石原顕正	552
■平成二十年日蓮宗現代宗教研究所彙報		
研究者・顧問・嘱託名簿		573
人    事		575
研究・調査分担一覧		576
平成二十年度事業報告		579
平成二十一年度事業計画案		590
■編集後記		593
■執筆者一覧		595